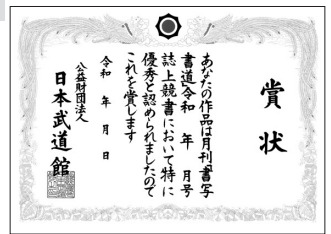


7月号 規定硬筆特別優秀表彰作品



特別優秀作品者に贈呈

幼児（6級上）
かたち、せん、すばらしい。なまえもよい
鶴田 果歩

うし
つるたかほ

小一（7級上）
鉛筆づかい、かたち、名前ともすばらしい
金子 慶悟

せみのこえ
かねこけいこ

小二（5級上）
強い線でどうどうと書けた。字形もよい
岡田 咲絵

もうじき夏
休みです。
岡田 咲絵

小三（2級下）
安定した線と字形が光る秀作
矢崎 光彩

七夕で、ねがい
ごとを短ざくに書
きました。
矢崎 光彩

小四（2級下）
強い線で字形整い、中心も通った優秀作
橋本 優香

社会の時間に、
自分たちの住む町
のことを調べた。
橋本 優香

小五（特級中）
鉛筆の扱いが良く本文名前共に整っている
野村 晴愛

紙すきは、千数
百年前に中国から
日本に伝わった。
野村 晴愛

小六（10級）
太細表現が絶妙で漢字とかなの調和も見事
青田 菜子

今年こそ念願であった
富士山に登ってみたい
と思う。
青田 菜子

中一（準優級中）
一字ごとに真面目に取り組み構成もよい
田中 康仁

耳
私の耳は貝のから
海の響きを懐かしむ
ージャンコクトー
田中 康仁

中二（優級中）
行書の連筆、字形良く、中心通り美しい
岡森 桃奈

耳
私の耳は貝のから
海の響きを懐かしむ
ージャンコクトー
岡森 桃奈

中三（準秀級中）
字形整い全体の調和抜群の秀作
阿部あかり

耳
私の耳は貝のから
海の響きを懐かしむ
ージャンコクトー
阿部あかり

楷書と仮名（八段）
筆庄の変化が心地良く、字形構成も秀逸作
吉川 秀美

人に功德があるのかわいのか
を見極める知恵を持った
者が賢者である。
ーサキヤー
吉川 秀美

行草と仮名（八段）
鉛筆の筆圧表現素晴らしく字形整齊の作
白石 佳江

人に功德があるのかわいのか
を見極める知恵を持った
者が賢者である。
ーサキヤー
白石 佳江